
私を泣かせて下さい

月蓮

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私を泣かせて下さい

【Nコード】

N5572D

【作者名】

月蓮

【あらすじ】

目の前が真っ暗闇になるなんてうそだと思ってた、いまの瞬間までは。はじめての失恋、そして心の成長、あらたな恋はできるのか？そんな彩香の物語は、、、、。

第1話：だいすきだったよ

あの日、あたしは決めたんだ、
もう恋でなんか泣かないって、、。

目の前が真っ暗になるってそんなのあるわけないと思ってた、たっ
た今まではね。

なにを言ってるのか理解不能、

なさけないツラしてんの
意味不明、

なんにも聞こえない聞きたくない

なんにも見えない
見たくない

でも頭のなかは、勝手に、 早紀と哲也のラブストリートを上映中

「だめだよ、彩香のこと裏切れない、哲也くんのこと大好きだよお、
でも、

やっぱだめだよ。」

「大丈夫だよ、

あいつは俺が居なくても、、でも早紀は俺が守んなきゃ。」

「哲也くん」

「早紀」

あーやばい、これ以上、妄想上映しているとイッテしまいそうになる。

そんなあたしを現実にもどすように、

哲の携帯がなった。

「でれば、どうせ

早紀でしょ。」

「いいよ、それよりほんとごめん、彩香のこと嫌いになったわけじゃないんだ、ほんと。

でも早紀は俺がいないと、、、。」

あたしだって、ほんとに淋しいがりやだし、泣きむしだし、すっごい甘えん坊なんだよ、でも、そんなのあたしのキャラじゃないし、それ以上に哲ならそんなあたしのこと全部分かってくれてるって思ってた。

でも、これが現実。彩香は強い子、元気な子。

それなら最後まで

キャラ貫いてあげるよ

「いいよ、

さようならしてあげる、あたしは哲が居なくても大丈夫。

ほら、あたしってちょーモテるからさ、だから大丈夫。」

「ありがとう、ほんとごめん。」

「じゃあ、あたし帰るね、ちょーモテモテだから忙しいのよ、早く電話したげなよ、さようならしましたって、
じゃあね。」

行っちゃうよ？

早くとめてよ、

全部嘘だって言ってよ、

追い掛けてよ、

後ろから抱きしめてよ、

あんなこと言われたのに、浮かぶのは

哲の優しい笑顔と

大好きな大きな手、もう、その手で包まれるのはあたしじゃないん

だと実感した途端

涙があふれてきた、我慢なんか出来ない位たくさん涙が、、、

あたし、こんなに好きだったんだ哲のこと、もっと、もっと早く気

付いて伝えてたら、、、。

涙が止まらないよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5572d/>

私を泣かせて下さい

2010年10月10日06時24分発行